

連合
愛媛

2007春季生活闘争 総決起集会

『公正で めくもりある社会への ギアチェンジ!』

日時：2007年2月25日(日) 10:00～

場所：松山市民会館 大ホール

Program

- 9:00～ 担当者集合・準備 役員・青年女性委員会
- 9:20～ 受付 書記・青年女性委員会
- 10:00～ 5分 開会あいさつ 副会長 三瀬 明
- 10分 主催者あいさつ 会長 木原 忠幸
- 10分 春闘方針説明・情勢報告 事務局長 杉本 宗之
- 決意表明(3名)
- 5分 ① 民間労組代表
(UIゼンセン同盟) 県支部常任 島田 岳
- 5分 ② 地協代表
(四国中央地協) 事務局長 政安 誠
- 5分 ③ 官公労部門代表
(自治労) 愛媛県職員労組青年部長 安田 洋三
- 15分 議員団紹介 各政党・無所属議員団
- 5分 3.8 国際女性デーアピール 女性委員会副委員長 大元 佳奈
- 5分 全国自治体統一地方選挙必勝決議 青年委員会副事務局長 宮本 元
- 5分 総決起集会アピール 青年委員会委員長 村井 純一
- 10分 閉会あいさつ・ガンバロー三唱 副会長 松本 修次
会長 木原 忠幸
- 11:20～ デモ行進(全員)出発



日本労働組合総連合会愛媛県連合会

連合愛媛2007春季生活闘争方針

○2006春季生活闘争で

進行する二極化に歯止めはかけられたか？ ⇒ **NO！** 多様化・拡大
広がる格差は縮まったのか？ ⇒ **NO！** 深刻な拡大へ

○2007春季生活闘争を取り巻く環境は

企業業績は、史上最高益を更新し5年連続の増益が見込まれている。
にもかかわらず、労働分配率は低下し続け、分配構造の歪みが顕著にー。

「ワーキングプア」の増加！

そして、**停滞したまま取り残された家計。**

大手⇔地場中小平均賃金格差



現状の転換！

【2007春季生活闘争の位置づけ】

1. 「労働の尊厳」を守り、社会的分配の歪みを正す！闘い！
2. 「格差・二極化」社会から「公正・安心・安全」な社会への「転換」を目指す闘い！（格差社会の流れを反転させる）

《果敢な労使交渉で、全雇用労働者への波及を図ろう！》

連合愛媛の賃上げ要求

連合愛媛は、中小・地場組合および未組織労働者に対するミニマム要求として **8,000円以上**、生活保障水準として**時間額730円**、パート賃金引き上げ**15円以上**を設定する。

連合愛媛は ⇒ こんな事にも取り組みます！

- ① 身近な格差の再確認 ⇒ 男女間格差の拡大！
大手男性社員と中小女性社員に、10万円以上の格差
- ② わたしたちに来る底上げ ⇒ 企業内最賃協定の締結
法定最賃（愛媛：616円）へのプラスの影響
- ③ 労働時間の適正管理 ⇒ **36協定** 総点検運動
- ④ 公正・公平な労働条件の確立 ⇒ 偽装請負などの組織内チェック

男女間格差2006年



2006年連合愛媛賃金実態調査による